

WEEKLY REPORT

ROTARYCLUB OF hakusanishikawa

よいことのために
手をとりあおう

ガバナー方針： 「みんなで参加しよう みんなで行動しよう」

クラブ基本方針： ローター“で”学ぶ、ロータリー“で”遊ぶ

白山石川ロータリークラブ

2026年1月29日 第1126回

会長： 塩野正幸

幹事： 織田一彦

公共イメージ委員長：木戸正裕

クラブ会報リーダー：藤本和久

委員： 中野貴之、織部資子、新陽一郎、多田茂、竹田佳一、山内隆

事務局：白山市西新町 159-2 松任産業会館 4階 TEL:076-274-2907 FAX:076-274-2908

Mail:info@hakusanishikawa-rc.jp HP://www.hakusanishikawa-rc.jp

第1126回 例会次第（第4例会）

1. 開会点鐘
2. ローターソング「それこそロータリー」斉唱
3. お客様の紹介、会長挨拶
・金沢市埋蔵文化財センター
(金沢市文化スポーツ局 文化財保護課)
担当所長補佐 向井 裕知(むかい ひろとも)様
4. 幹事報告
5. プログラム 卓話
講師紹介 織部 資子 公共イメージ委員
講師 金沢市埋蔵文化財センター
(金沢市文化スポーツ局 文化財保護課)
担当所長補佐 向井 裕知様
演題 『加賀一向一揆と山城の攻防
～百姓ノ持タル国と山城の世界～』
6. 出席報告
7. ニコニコボックスの発表
8. ローターソング「四つのテスト」斉唱
9. 閉会点鐘

◆お客様の紹介、会長挨拶 (塩野正幸 会長)



◆幹事報告（織田一彦 幹事）



- ・1/26 ガバナー・ガバナーエレクト合同事務所
会長エレクトラーニングセミナー（PELS）のご案内について
◎PELS I オンライン
日時：2026年3月8日（日）9：00～12：00
◎PELS II 日時：2026年3月14日（土）13：30～16：55
会場：富山県民会館
- ・1/26 ガバナー・ガバナーエレクト合同事務所
国際青少年：ロータリー修学旅行のご案内について
参加希望者は本国の親の同意サインを添えて2月20日（金）までにお申し込みください。
期間：2026年3月28日（土）～3月31日（火）
訪問先：広島、大阪、京都
費用：150,000円（地区50,000円、ホストクラブ50,000円、本人50,000円負担）
- ・1/29 ガバナー・ガバナーエレクト合同事務所
第2610地区ローターアクト(富山・石川)第48回地区年次大会のご案内について
日時：2026年3月28日(土)開会13：00 懇親会17：00
場所：金沢ニューグランドホテル 本登録締め切り：2月20日(金)

◆プログラム 卓話
(講師紹介 織部資子 公共イメージ委員)



講師 金沢市埋蔵文化財センター
(金沢市文化スポーツ局 文化財保護課)
担当所長補佐 向井 裕知様
演題 『加賀一向一揆と山城の攻防
～百姓ノ持タル国と山城の世界～』



◆出席報告
(横山由裕 出席リーダー)



- 出席率：72.97%
- 出席者：23/39名
- 出席補填：4名
- 出席免除会員：2名



塩野 正幸 会長

金沢市埋蔵文化財センター 向井裕知様、雪の中お越しいた
きありがとうございます。

卓話ありがとうございました。

織田 一彦 幹事

金沢市埋蔵文化財センター 向井裕知様、卓話ありがとうご
ざいます。

メンバーの皆様、雪の中参加ありがとうございます。

松田 和仁

金沢市埋蔵文化財センター担当所長補佐 向井裕知様、本日は
足元悪い中卓話にお越し

頂きありがとうございます。

昨日、横川さんの所で、第1回目の英会話スクールに参加させ
て頂きました。

興味本位で受講しましたが、楽しい時間を過ごせました。

横川さん、ありがとうございます。

本日、バッジ忘れました。2週連続です。

中野 貴之

待ちに待った2度目の町内会長になってしまいました。

今年に入って色々要るものも要らないものもあたります。

来月も色々あたるのでしょうか。楽しみにしています。

西川 隆司

又、雪が降って、2週連続で週末は雪掻きですかね。私の歳
では辛いです。

織部 資子

向井さま、今日は大雪警報の中、卓話にお越しいただきあり
がとうございました。

専門的なお話を分かりやすくしていただきありがとうございます。

ロマンあふれる中世ですね。

小路 昌弘

金沢市埋蔵文化財センター所長補佐 向井裕知様、本日はお
忙しい中卓話頂き

ありがとうございます。

本日合計 7,000円 今年度累計 402,500円

「山城マイスター」の金大生と、金沢市埋蔵文化財センターが協力して作成しました。

2026年1月21日の北國新聞に掲載されました。



『ロータリーから受ける恩恵』

チェス・ペリー(初代事務総長)は「奉仕の精神」はロータリーの高速道路であり、四つの綱領は四本の車線だと考えています。

全員一致の見解を望むことは不可能です。25万人(当時)のロータリアンの中でもロータリーの理想的な活動において、完全に意見が一致する人は二人といません。各人の異なった顔型と同様に、人々にはそれぞれ違った考えがあります。大体人間の考えというものは、色彩以上に変化に富んでいます。然も、人の考えを直すのは難しいことです。

人間の信念は、気質、遺伝、環境、経験等、色々な要素によって決まるものです。従って指導者たる者は、隠忍自重よく考えた上で決断しなければなりません。ロータリーが独断的になっては役に立ちません。

ロータリー運動に参加している人たちが満足しているのは、ロータリーから受ける小さな恩恵でも、それはそれなりに価値があると考えからです。きちんきちんとクラブの会合に出席すると、会員相互の友好親善を通して人生が豊かになります。また、ロータリーの文化、プログラムに参加すると、精神的、倫理的な視野が広がることが分ります。

P. ハリス(ロータリーへの道より)

『米山梅吉氏のP. ハリス敬愛の言葉』

米山氏がP. ハリスの著書「ロータリーの理想と友愛 (THIS ROTARIAN AGE)」を訳して出版しているがその訳書の中に次の一首がある。

「過ぐる年、亜米利加に開かれし、国際ロータリー大会にて読める」奉仕てふ心めでたき純絹(ひたぎぬ)にそめたる国の四十あまりの旗」更にまた次の一節がある。

読む人は直ちに気が附くであらふ如く、此の書中に最も感を深くする点が三つあると思ふ。第一は、ポールの態度が如何にも敬虔でロータリーのような大運動を起こした人の其れに似合はぬ程、遠慮勝ちであること、第二は、彼は頗る文学的天分に富んでいることが記述の間に現はれ、美事に全篇の文を進めていること、第三は、彼は真に躬行実践の人で、艱難辛苦を嘗めて来た其生涯から得た温かい人情味が一貫して交友の重きを知らしめ、ロータリーの精神が其処から出発して「己が他より施されんと希ふが如く他に施せ」といふ古き真理が新しき輝きを以て此人生を有意義のものとするに与って力があると云ふことである。

米山氏がロータリー精神に共鳴する根底には、ポール・ハリスに対する深い敬愛の念があったであろうと思われる。

(佐々木邦氏の米山梅吉伝より)

